

御嶽山の火山活動解説資料（平成 21 年 11 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 20 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動状況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2 - 、図 4）
長野県が大滝村滝越（剣ヶ峰の南南西約 9km）に設置してある遠望カメラでは、地獄谷の噴気孔でごく少量の弱い噴気が時々観測されました。
- ・地震や微動の発生状況（図 2 - 、図 3）
火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図 2 - ）
GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

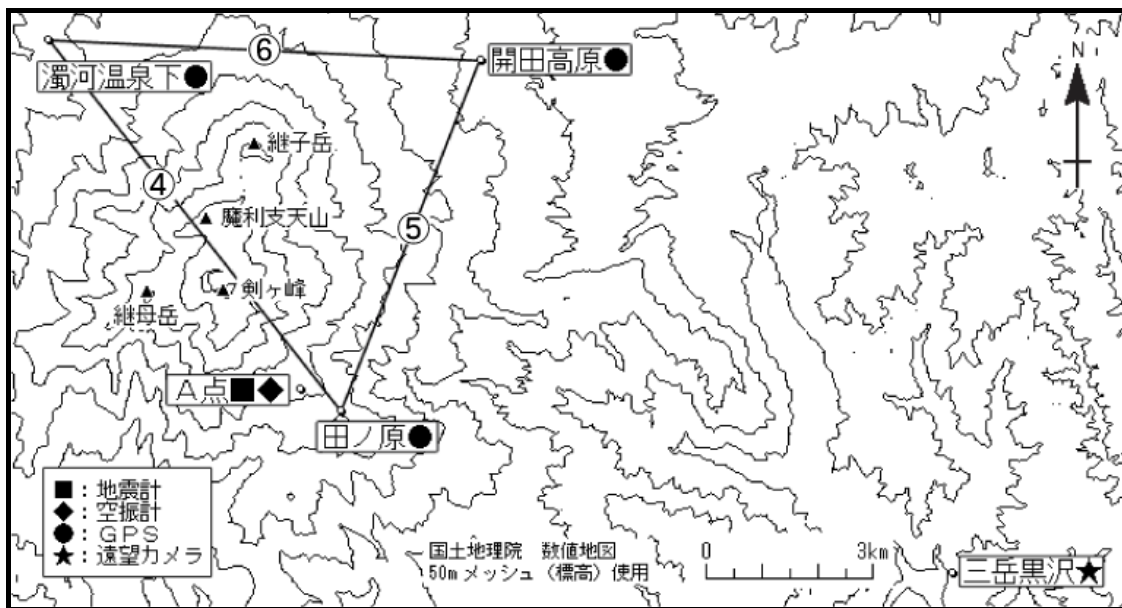


図 1 御嶽山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）

図中の GPS 基線 ~ は図 2 の ~ に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 12 月分）は平成 22 年 1 月 8 日に発表する予定です。

この記号の資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

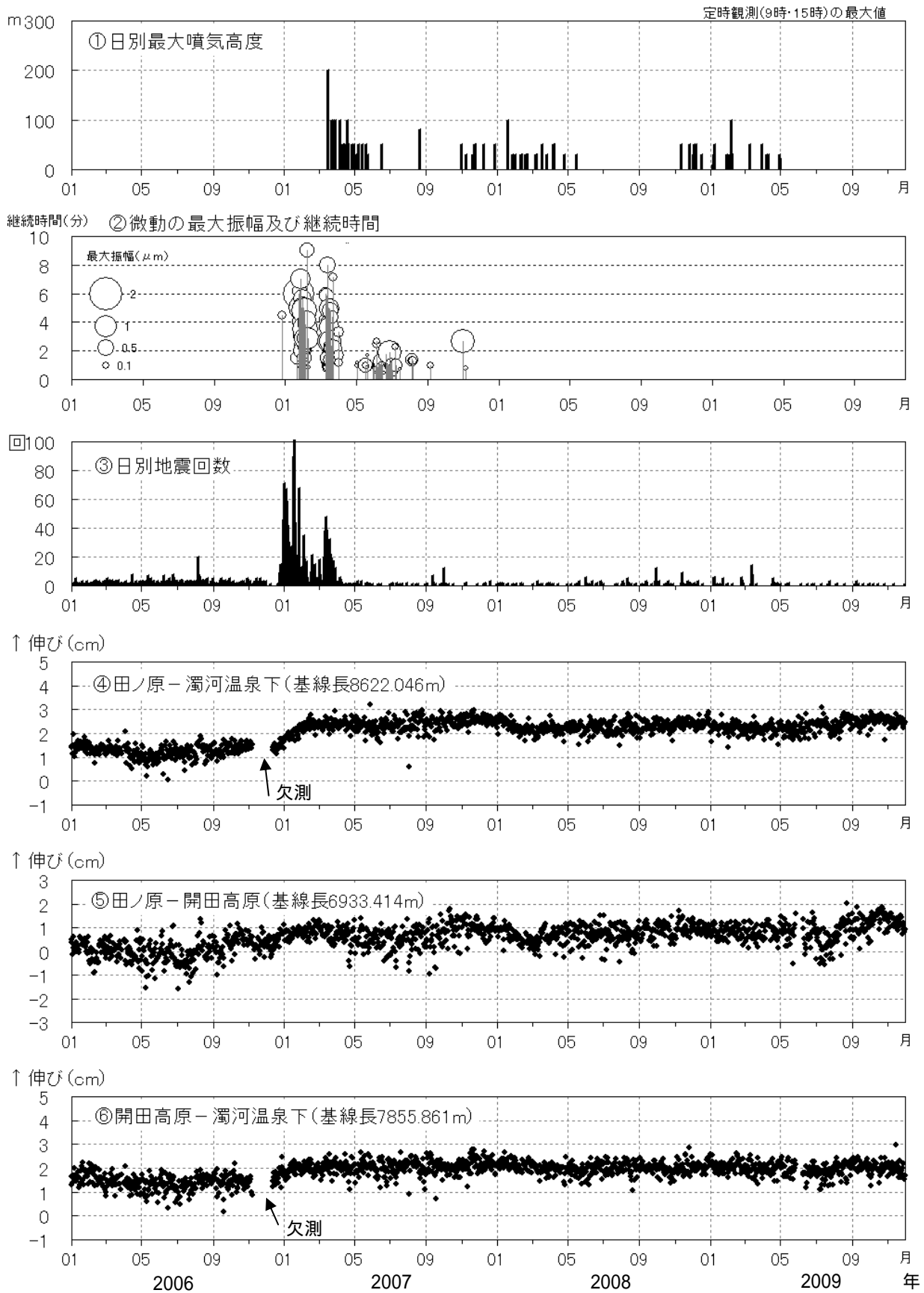


図2 御嶽山 最近の火山活動の推移(2006年1月1日~2009年11月30日)

図中 ~ は図1のGPS基線 ~ に対応しています。

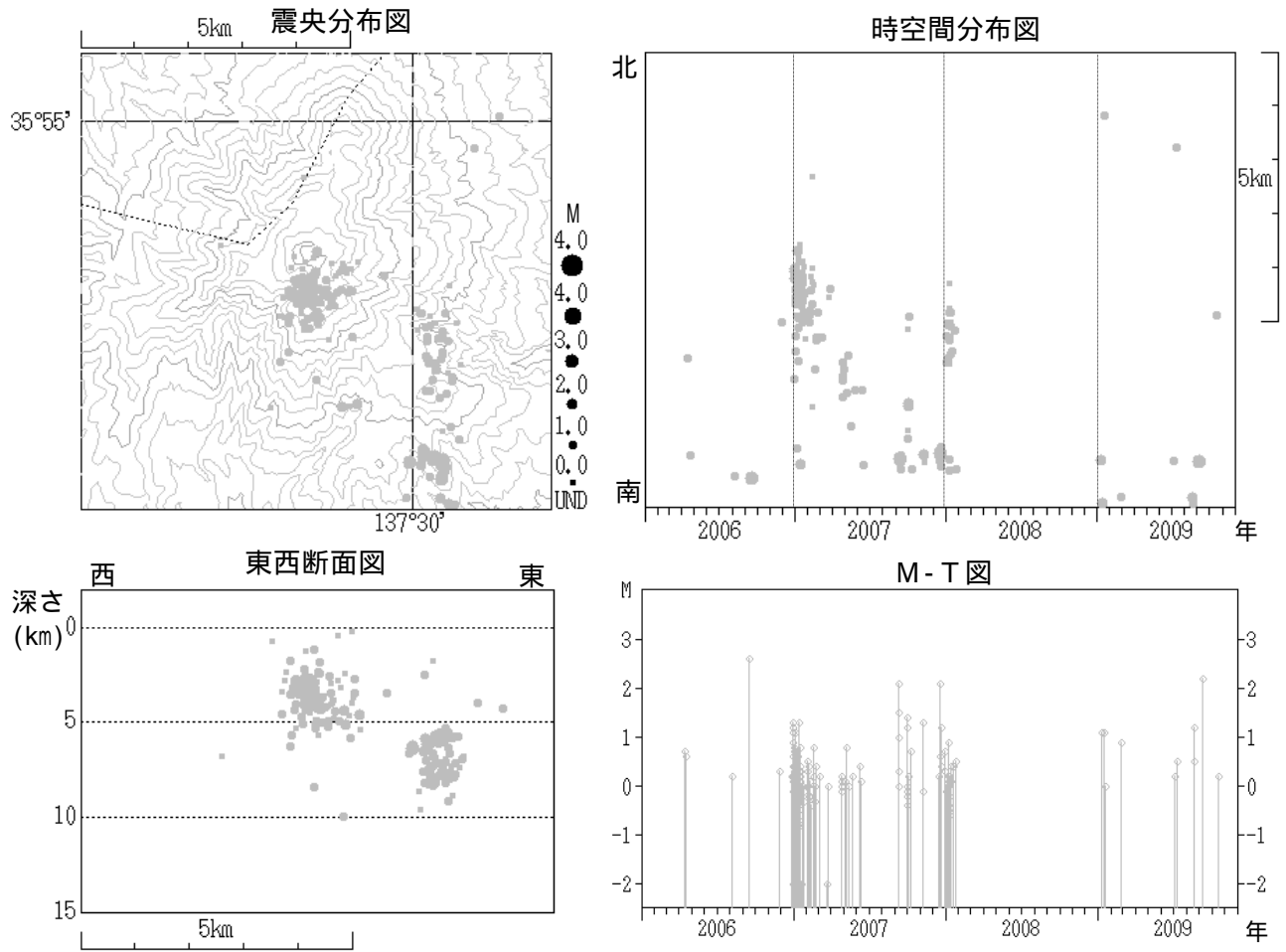


図3 御嶽山 震源分布図(2006年1月1日~2009年11月30日)

: 2006年1月1日~2009年10月31日
 : 2009年11月1日~2009年11月30日

M(マグニチュード)は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。

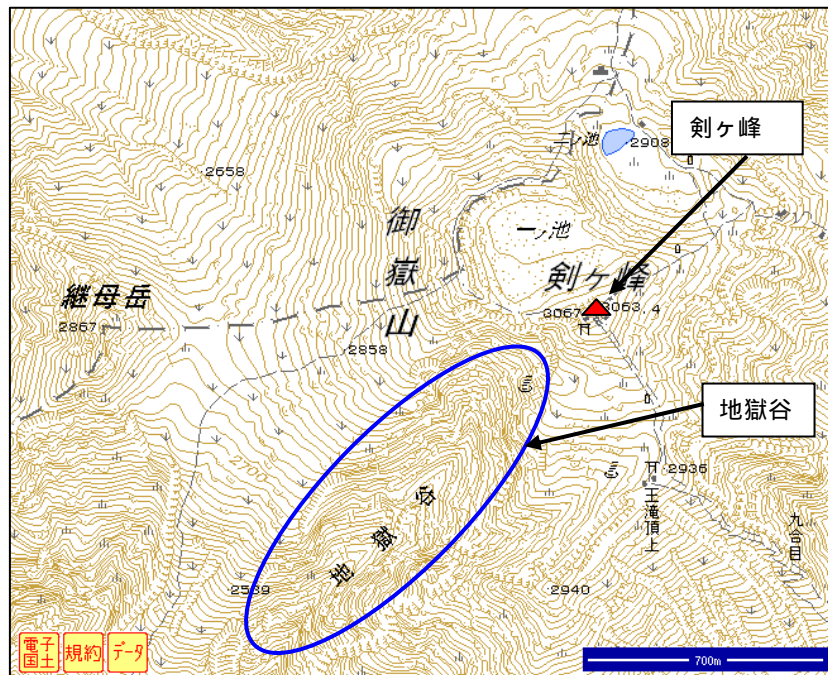


図4 御嶽山 噴気孔(地獄谷)位置図